

表紙の人

中川貴文 (なかがわ たかふみ)



【プロフィール】

京都大学 生存圏研究所 准教授

1975 年奈良県川上村生まれ
2003 年東京大学大学院修了後、
民間企業を経て、2005 年より国
土交通省国土技術政策総合研究
所、及び国立研究開発法人建築
研究所にて木造の耐震の研究、
耐震基準の整備に従事
2010 年に「wallstat」の無償公
開を開始
2018 年より現職
耐震性能見える化協会 代表理事

○受賞・学位

・2019 年文部科学大臣表彰
博士(工学)・博士(農学)

○研究テーマ

・木質構造の倒壊解析手法開発
・木造の地震被害調査
・川上村産吉野杉の性能検証
・三次元 CAD を活用した耐震性
能評価法の開発
・木造住宅の耐震診断の高度化
・大規模木造の構造設計法開発
など

「表紙の人」は、奈良県川上村出身の中川貴文さんです。中川さんが開発した木造住宅の耐震シミュレーションソフト wallstat (ウォールスタット) をご存知でしょうか? wallstat はインターネットから無料でダウンロードできるソフトです。下図のように木造住宅が地震時にどれくらい変形・損傷するか、倒壊するかをアニメーションで見ることができるソフトです。耐震の知識のない一般の方でもビジュアルで耐震性を瞬時に理解することができるため、新築・既存住宅で wallstat 検証を導入する住宅会社・設計事務所が急増しています。最近では設計用 CAD とデータ連携可能になったり、大規模木造にも応用されたり、と適用範囲を拡大しています。

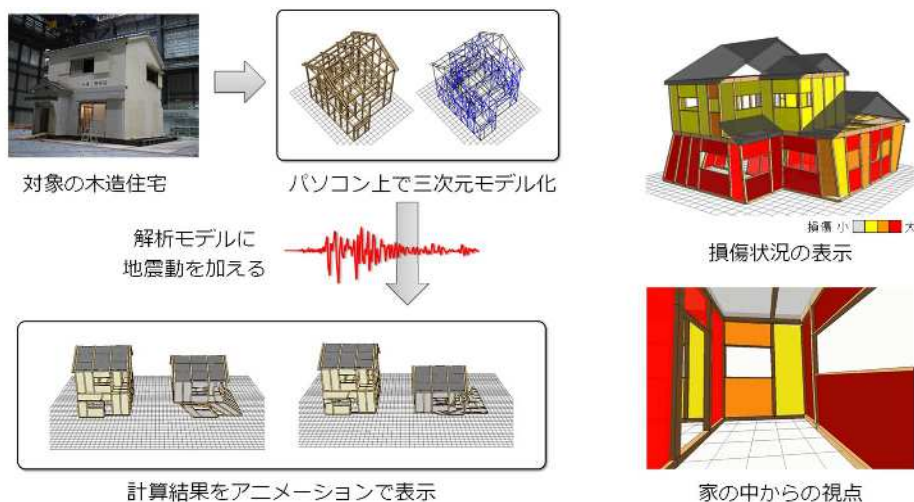
■wallstat を開発したきっかけは?

東京大学在籍時に阪神淡路大震災が発生しましたが、それがきっかけです。卒業研究で現在の wallstat の基となるプログラムを作成しました。木造住宅のリアルな耐震性をいろんな方に目で見て理解いただき、木造住宅の耐震性向上に繋がればと思い開発を続けてきました。振動台実験と比較して改良を重ね 2010 年にインターネット公開を始めました。一般の工務店では難しい実大住宅の振動台実験の代わりとして使っていただきたいです。

■川上村と連携協定を締結したと聞きました。今後の抱負は?

私の生まれ故郷である川上村で育った吉野杉は銘木として広く知られていますが、木目が密であることから強度が高いことも実験で明らかになっています。そこに着目し 2019 年より川上村産材の耐震性能の高さを見える化する試みを始めました。wallstat により川上村産材の耐震性の付加価値を広く知っていただきたいと思います。

wallstat の概要 ダウンロード URL : <http://support.wallstat.jp>



「なら・まちづくりコンシェルジュ」のこれまでの活動（その2）

1. はじめに

前回（3月号）に続き2回目の投稿となります。前回は「なら・まちづくりコンシェルジュ」の概要と、これまでに取り組んだ活動の一部をご紹介します。今回は、その活動の続きをご紹介します。

2. これまでに取り組んだ活動の紹介（その2）

■つながりの場づくり

月1回の開催で誰でも気軽に参加していただけるようテーマは決めず、参加者が話をしたいことを持ち寄って全員で共有する場です。郡山城下町地区では、NPOが立ち上がり、空き家の活用などの動きにつながっています。



■「奈良・町家の芸術祭はならあと」の立ち上げ支援

「はならあと」は、地域の皆様が主体となって平成23年から行われているアートイベントです。その立ち上げに際しコンシェルジュと地域の皆様とのネットワークが活かされました。「はならあと」を行うことによって、町家・町並みの魅力を県内外に発信するとともに、会場となった空き町家の活用が進んでいます。



■「大和・町家バンクネットワーク」の立ち上げ支援

建築士会の皆様にもご参画いただいた大和・町家バンクの立ち上げ支援にもネットワークが活かされました。今井町の空き家バンクを他地区に広げる取り組みで、パネルや見学ツアーなどを通じて町家の魅力が発信されてきました。

■「大学との連携」支援

桜井市初瀬地区では、早稲田大学との連携を提案しました。大学のノウハウが活かされたワークショップやジオラマ模型の作成などを通じて、一般社団法人が立ち上がり、カフェや休憩所が運営されています。



■「空き町家の利活用」支援

空き町家の活用のご相談を受け、具体的に町家改修によるまちづくり拠点の整備までの支援を行いました。

五條市新町地区では、まちづくり会社「あすも」が設立され、レストラン「源兵衛」などを運営されています。



2回にわたって、コンシェルジュの概要と過去の活動をご紹介します。次回は最近の活動などをご紹介します。

【記：なら・まちづくりコンシェルジュ 高田大輔
（奈良県郡山土木事務所建築課課長）】

はじめに

奈良ヘリテージ支援センターは広報誌 2020.11 月号で「ヘリテージ支援事業での取り組み」として紹介させて頂きましたが、2013 年に住まいまちづくり委員会に設置された組織で、会員は現在 62 名です。

目的は「奈良県内に点在する数多くの歴史的建造物を中心とする歴史文化遺産の活用を推進することにより、古都奈良の新たなまちづくりに貢献すること」で、以下の活動を行っています。

- ① 歴史的建造物等の歴史文化遺産の掘り起し活動
- ② 歴史的建造物等の歴史文化遺産の活用によるまちづくり活動
- ③ ヘリテージマネージャーのスキルアップを図る活動

歴史的建造物等の歴史文化遺産の掘り起し

支援センター設置当初に「奈良市の近世・近代の歴史的建造物の掘り起し事業」を文化庁の助成を受けながら、奈良市と協働で実施しました。2014 年「富雄地区」、2015 年「平城地区」、2016 年「帯解地区」、2017 年「明治地区」と、行政と支援センターの役割を決め、協定書を結びすめました。調査は、地域を決めて調査物件を選定し、事前に地元の方々にその地域の歴史等を聞き取りするところから始まります。



(地域の方々との事前学習)

それに基づいて 3 名一組で調査を実施します。主体は外観調査ですが、所有者が在宅の場合、建物の歴史や生い立ちなどのお話を聞きます。



(調査の様子)

そして地域の概要、写真、歴史的建造物の分布図などを資料としてまとめ、地域の方々を集めて報告会を開催します。報告会を開催することにより、改めて地域を再発見して頂き、今後のまちづくりの起爆剤となること、また日頃見慣れた風景や建物の歴史的価値を見出して将来に残していこうとの思いから、有形文化財登録に進むケースもあります。



(地元報告会)

さらに、これらの活動を広く一般の方々に知ってもらうために、奈良県図書館のギャラリーを借りて、赤膚山元窯保存会と共同パネル展を開催しました。



(展示の様子)

歴史的建造物等の歴史文化遺産の活用

登録有形文化財の申請支援活動については、2019 年度に桜井市多武峰の住宅 2 軒、橿原市の住宅 1 軒、これは大阪府建築士会から協力依頼があり、大阪府建築士会のヘリテージマネージャーとの協働事業として実施しました。2020 年度についても、桜井まちづくり会社より 2 件の依頼があり、支援をしています。



橿原市の八木札の辻近くで、解体される歴史的建造物の調査をしました。事業の都合で取り壊される建物で、棟札は見つかりませんでしたが、少なくとも明治まで遡る建物であると考えられました。主屋は「1列3室」または「2列4室」の形式と考えられ、南側に通り土間、前面にしもみせが張り付いた町家です。

痕跡を辿りながら調査をすすめると、当時の情景が浮かんできます。それらを報告書としてまとめ、歴史的町並み景観保全と地域の活性化に繋げて頂くことをお願いしました。



(調査した札の辻歴史的建造物)

万葉まほろば線（JR桜井線）について、駅舎等の資料作成をすすめています。契機は、奈良市の「近世・近代の歴史的建造物の掘り起し事業」です。

対象となった帯解地区のまちづくり団体より、JRがすすめている駅舎のスマート化で、地元では駅舎の保存・活用の気運が高まっているので支援してもらいたいとの相談があり、駅舎の実測等を行いました。



(JR帯解駅)

またJR畝傍駅では橿原市によるサウンディング調査が実施されています。当支援センターは地元まちづくり団体の支援として参加しています。貴賓室を備え



(JR畝傍駅)

た駅をまちづくりの活性化にどのように繋げていくのか、動向を見守りたいと思います。

当支援センターとしては、地元の取り組みを支援していくべきとの考え方から、JR奈良駅から高田駅までの万葉まほろば線の駅舎について現況を調査し、また周辺環境やまちづくり団体についても資料としてまとめ、地元を巻き込んだ見学ツアーを実施したいと考えています。今年はコロナ禍の中、少人数での見学となると考えています。

スキルアップを図る活動等

ヘリテージマネージャーに関する情報交流、普及等を行うための全国組織として全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会があります。また地域ネットワークとして、近畿HMN協議会準備会があります。近畿府県での情勢やスキルアップ活動等について、情報交換会議を開催しています。当県のスキルアップの講習についても、県内だけでなく他府県の研修に参加しながら、情報交流と見識を広めています。

2020年度は建築士会全国大会（広島大会）も延期となり、同時に開催する予定だった全国ヘリテージマネージャー大会も出来なかったことから、オンラインによる活動報告会が3月28日に開催されました。参加人数制限があり、報告会の様子は奈良県建築士会HPで建築士会連合会のHPの閲覧を案内させて頂きました。

当県で2019年、2020年とスキルアップ講習が開催できていけませんので、2021年度には人数限定となると思いますが、何とか実施できればと考えています。

おわりに

阪神・淡路大震災の教訓により兵庫県から始まったヘリテージマネージャーは「地域に眠る歴史的文化遺産を発見し、保存し、活用し、まちづくりに活かす能力を持った人材」と定義され、全国的に広がりました。

その後の活動の中で、歴史的建造物の修理技術者という狭い枠を超えて、「地域文化活性化の一翼を担う人材群」とであると定義できるのではないかとひょうごH²Oの初代代表世話人である沢田伸氏は述べています。

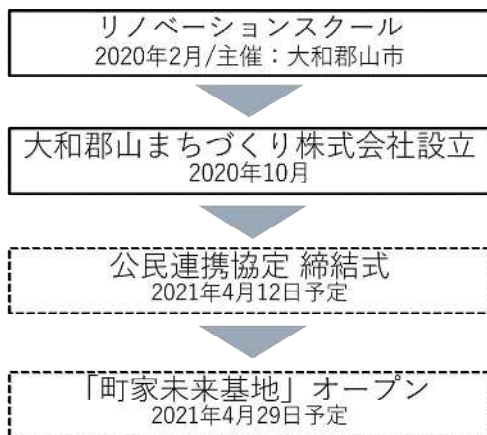
奈良県は130名のヘリテージマネージャーが活動していますが、歴史的な地域でありながらその建造物の価値や活用について一般の認知度が希薄で、活躍の場が少ないと考えています。

当支援センターは、歴史的建造物が数多くある奈良を再認識してもらう活動と共にヘリテージマネージャーへの認知度を向上させ、登録有形文化財の申請支援を含む地域の歴史的文化遺産の保全・活用・改修への積極的な介入、行政と連携した活動を今後も進めたいと考えていますので、ご協力の程、宜しくお願いします。

【記：代表世話人 紀本澄男】

近年、空き家が社会問題となっており、市町村では、空き家相談や利活用の推進が進められています。大和郡山市においても、2020年には市が主催するリノベーションスクールが奈良県では初開催され、コロナ禍の中、新しい活動がスタートしています。桜井市では先行して「桜井まちづくり株式会社」が発足して、すでにリノベーション物件が喫茶店やフレンチや民泊等が実際に稼働しています。大和郡山でも、今年度新しく市が応援する形で「大和郡山まちづくり株式会社」が始動しました。郡山支部も、こうした大和郡山城下町の動きと一緒に盛り上げ、また協働していく予定です。また、新たに支部の寄合所（拠点）を設け、活動の活性化を目指しており、この度、「土會奈良」の紙面をお借りし報告いたします。

2020年 大和郡山城下町のまちづくり



まちづくり会社は、現在その拠点事業所として、矢田筋通りに面した元花屋と元新聞店の建物のリノベーションを進めています。この建物の名称は「町家未来基地」。関係メンバーの考えた名前をワークショップの際に、市民の皆様投票してもらって決められました。1階店舗部には、スパイスカレーやスムージーのカフェなどがテナントとして入居予定です。

郡山支部では、この町家未来基地の2階北側にある茶室を拠点（寄合所）として利用し、地域活動の一層の活性化を目指します。



郡山支部の寄合所の創設

「町家未来基地」内の茶室



さて、郡山支部では、支部の寄合所を設けるにあたり、下記4つの目的・目標を掲げております。支部会員の交流促進や仕事での利便性の向上といった、我々自身のメリットはもちろん、一般社団法人として社会に開かれた奈良県建築士会の支部であることを忘れず、まちづくり関係者等の外部団体との連携や市民の方の相談窓口としての機能も目的に加えています。結果として、新たな仲間（新規会員）の獲得やメンバー自身の仕事にもつながって行くことを目標としています。

郡山支部の寄合所（拠点）

支部の拠点を作って、
地域活動をより活性化

- 1 支部会員の交流促進
- 2 支部会員の仕事での利便性向上
(打合せ場所、ワークスペース等)
- 3 まちづくり関係者との連携促進
- 4 市民相談窓口（耐震診断等）

新規会員の獲得や仕事につなげる！

最後に、本活動は我々自身も「チャレンジ活動」と呼んでいるくらい、はっきりと道筋が見えているものではありません。今後、その運営や活用効果を試行錯誤しながら検証していく段階にあります。

郡山支部では対応できない相談等も寄せられることもあるかと考えております。奈良県建築士会の一支部として、一社の活動活性化に貢献できるよう進めて参ります。今後の活動へのご協力をお願いするとともに、活動へお気軽にご参加をいただけますと幸いです。

【記：郡山支部長 折目貴司】

※本記事は、3月23日の理事会にて報告の内容を「土會奈良」用に原稿化したものです。



2月23日のまち歩きイベント後の集合写真

お知らせ

●令和3年度通常総会の日程

日 時：令和3年5月18日（火）15：00～16：30

場 所：奈良県文化会館

議 事：令和2年度事業報告及び決算について

令和3年度事業計画及び予算について

※事業報告会、懇親会は開催いたしません。

尚、今後の新型コロナウイルスの状況次第で、日程等を変更する場合がありますのでご了承をお願いいたします。

※正会員の皆様は、通常総会の案内についている出欠表を提出頂きますようお願いいたします。残念ながら欠席される場合には、必ず委任状も記載したうえでご返送頂きますようお願いいたします。

●年会費納入のお願い

本年度会費につきまして、未納の方は速やかにお振込み頂きますようよろしくお願いいたします。

●入会

小川 かおる 様 奈良支部

長谷川 樹 様 奈良支部

芳野 崇 様 奈良支部

上村 日向 様 高田支部

よろしくお願いいたします。

●計報

杉崎 俊治 様 五條支部

ご冥福をお祈りいたします。



編集後記

私事ですが、小生も今年から年金を頂けるようになりました。しかし年金だけでは暮していけないのが現実で、今も建築の仕事が続いています。大変だけれど面白くやりがいい仕事です。私の同級生のほとんども定年後も働くようで励みになっています。

ただ、体は思うように動かず、物忘れも多くなり、若い頃のような大きな仕事はなかなか出来ないのが現状ですが、今後も妻が心配なく生活できるように、とりえず70歳までは働き続けたいと思っています。

まだまだ収まらない新型コロナウイルスは、我々にとって脅威です。私も高齢者の仲間入りをし、先日ワクチン接種の通知が届き早速申込みをするつもりですが、実際いつ打ってくれるか分からない状況です。

これから、残りの人生をいかに生きるのか見据えるなかで、まずはコロナ禍をどう凌いでいくかを真剣に考える、今日この頃です。

【記：小松原寛俊】

5月 18日（火）令和3年度通常総会
19日（水）監理技術者講習

6月 16日（水）監理技術者講習
16日（水）建築士定期講習

建築士会CPD講習のご案内

コロナ禍、講習の参加が出来ない状況ですが、インターネット講習も実施されていますので日本建築士会連合会のホームページよりご検索下さい。
※CPDは、国土交通省をはじめ、多くの都道府県で加算の対象となっています。



士 会 奈 良 通巻 637 号

令和3年5月1日（発行隔月1回1日発行）

発 行 所 一般社団法人 奈良県建築士会

〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館

電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333

<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>

info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米村 博昭

編 集 （一社）奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委 員 長 福田 成生

副委員長 松田 七彦

委 員 中元 綱一

門脇 直也

松尾 憲治

小西 直樹

小松原寛俊

押部 誠

宮浦 重彦

伊藤 吉郎

折目 貴司

大倉 克之

山崎 修裕

洞 尚樹

奈良県のストレート合格者のおよそ9割は総合資格学院の当年度受講生！

奈良県
合格者占有率

No.1
建築士試験

令和元年度 1級建築士 学科・設計製図試験

奈良県 ストレート合格者占有率

88.9%

奈良県ストレート合格者9名中、当学院当年度受講生8名

令和元年度 1級建築士 設計製図試験

奈良県 合格者占有率

85.7%

奈良県合格者28名中、当学院当年度受講生24名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会No.1表示に関する実態調査報告書に基づき掲載しております。※都道府県合格者数・ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・製図ストレート合格者とは、令和元年度1級建築士学科試験に合格し、令和元年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和2年2月12日現在)

開講
迫る!!

令和3年度 1級・2級建築士
学科対策講座

受講生
募集中!!

お申込みは
お早めに!

1級・2級 建築士
建築施工管理技士

構造/設備設計
1級建築士
土木施工管理技士

建築設備士
1級・2級
管工事施工管理技士

宅地建物取引士
1級
造園施工管理技士

インテリア
コーディネーター
賃貸不動産
経営管理士



総合資格学院
全国約100拠点

学院長 岸 隆司



www.shikaku.co.jp

Twitter → @shikaku_sogo

Facebook → 「総合資格 fb」で検索!

総合資格 検索

奈良校 TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺町3-27 泉谷ビル 4F

近鉄大和西大寺駅北口から徒歩5分